

辽宁省高等教育自学考试指定教材

日语专业

本科毕业综合教程

辽宁省高等教育自学考试委员会组编

主编 ◆ 宫 伟 邴 胜

■ 黑龙江人民出版社

辽宁省高等教育自学考试指定教材

日语专业本科毕业综合教程

辽宁省高等教育自学考试委员会组编

主 编 宫 伟 邴 胜
副主编 李妍妍 王玉珊

黑龙江人民出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语专业本科毕业综合教程/ 宫伟/ 邴胜主编. - 哈尔滨:
黑龙江人民出版社, 2007. 12

ISBN 978 - 7 - 207 - 07607 - 6

I. 日… II. 宫… III. 日语 - 高等教育 - 自学考试 - 教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2007)第 196228 号

责任编辑: 安晓峰

装帧设计: 殷庆年

日语专业本科毕业综合教程

宫伟 邴胜 主编

出版发行	黑龙江人民出版社
通讯地址	哈尔滨市南岗区宣庆小区 1 号楼
邮 编	150008
网 址	www. longpress. com
电子邮箱	hljrmchs@ yeah. net
印 刷	大连华伟印刷厂印刷
开 本	880 × 1230 毫米 1/32
印 张	10. 375
印 数	2000
字 数	200000
版 次	2007 年 12 月第 1 版 2007 年 12 月第 1 次印刷
书 号	ISBN978 - 7 - 207 - 07607 - 6/H · 288
定 价	20. 00 元

发行电话: 0451 - 82295155 订购电话: 0411 - 82303844

(如发现本书有印制质量问题, 印刷厂负责调换)

前言

日语专业本科毕业综合考试,是为了综合检验学生的日语语言基本功及实践运用能力等是否真正达到本科生的水平。考试选材范围广、考核要点多、试题难度大,考生迫切需要一本有针对性的教材,能对毕业综合考试进行详解,以指导他们顺利通过考试。

为了满足考生的这一要求,我们受辽宁省自学考试委员会和大连外国语学院委托,严格按照《日语本科毕业综合考试大纲》的要求,组织编写了《日语专业本科毕业综合教程》一书。

该书具有“针对性强”和“实战性强”两个特点。

所谓的“针对性强”,指的是本书严格按照《日语本科毕业综合考试大纲》所要求的考核要点及题型,选取难度与真题相当的题目为例,共分为文字、词汇、语法、读解、翻译等几大部分进行讲解。每一部分又结合样题或历年考题,对考点进行详细解析,并对解题方法乃至学习方法都做了画龙点睛式的指导。同时,为了便于考生自测对每一部分内容的掌握情况,本书在每一个章节的后半部均设置了有针对性的专项练习。在内容的选择上,本书还充分考虑到了自学考试学生学习日语的特殊规律和要求,不仅注重考

查和培养学生的语言基本功,还注重语言的实际运用能力即交际能力的培养,以满足学生毕业后的就职需求。

“实战性强”是指本书除了前半部分的解题技巧的讲解外,还在后半部分配了五套高仿真毕业综合模拟试题。这五套试题无论形式还是内容都全面模仿毕业综合考试,给学生以实战的感觉,一方面使之尽快适应毕业综合这种考试形式,另一方面也有利于学生通过模拟考试检验自己的水平,找出自己的不足。

本书在编写过程中,参阅了一些日语专业考试尤其是一级考试的资料及权威网站的部分资料,在此对原作者一并表示感谢。

由于时间仓促和编者学识所限,教程之中的疏漏和错误在所难免,恳请广大专家及读者不吝赐教。

编 者

2007 年夏

编审委员会名单

主任委员：李荣希

副主任委员：王新民 马 强 张德君

委 员：(按姓氏笔画排列)

于 健	马 强	王新民	李荣希
李长江	李 光	张德君	夏 青
鞠绍岩			

目 录

◎ 文 字

一、题型及对策	1
二、测试点解析	1
三、难读词表	2
四、练习	18

◎ 词 汇

一、题型及对策	23
二、测试点解析	23
三、词汇练习	25
汉字词汇	25
副词	29
外来语	34
拟声拟态词	40
惯用句·谚语	45

◎ 语 法

一、题型及对策	51
二、测试点解析	51
助词语法功能词练习	54
助动词语法功能词练习	68
敬语	81

思考题	72
习题	72

第四章 点的运动与刚体的基本运动 76

第一节 点的运动	76
第二节 刚体的基本运动	85
小结	91
思考题	91
习题	92

第五章 点的合成运动与刚体的平面运动 95

第一节 点的合成运动概念	95
第二节 点的速度合成定理	96
第三节 点的加速度合成定理	99
第四节 刚体平面运动的简化及其运动方程	102
第五节 求平面图形上各点的速度	104
第六节 用基点法求平面图形上各点的加速度	109
小结	111
思考题	112
习题	112

第六章 动力学的基本方程与动静法 116

第一节 质点动力学基本方程（附质心运动定理）	116
第二节 质点动力学问题的动静法	122
第三节 刚体绕定轴转动动力学方程	125
第四节 质点系的动静法	128
小结	132
思考题	133
习题	134

第七章 动力学普遍定理 139

第一节 动量定理	139
第二节 动量矩定理	142
第三节 动能定理（能量法）	145
第四节 功率与功率方程	156

文字

一、题型及对策

文字部分的题型是将当用汉字改成平假名,将平假名改成汉字,共设 20 个问题。此题难度中等偏难,既有常用词,也有难解词,难解字词多为生僻字,特殊读法较多,希望考生平时在记忆时要注意浊音、促音、拨音、长音、音训读以及惯用熟语等特殊的读法,并要靠前后文的意思来判断。

二、测试点解析

1. 考查日语当用汉字

このあたりは、交通じゅうたいに悩まされ、排気ガスで覆われている。 (渋滞)

2. 考查日语汉字的音读和训读

一般的に漢字の原型イコール象形文字と考えがちだが、むしろ形声文字にこそ漢字の代表である。 (しょうけいもじ)

七日までの消印がなければ無効とする。 (けしいん)

3. 考查惯用熟语及汉字词

ばんしょうお繰り合わせのうえ、ふるってご参加ください。

(万障)

時によって自分と関係のない外の者に対してはぼうじゃくぶじんのふるまいをするという場合もある。 (傍若無人)

4. 考查同音异义词:通过前后文意思判断同音异义词汉字

常用漢字の特徴はきせい色の強い当用漢字とは性格を異にしている。 (規制)

5. 考查日语汉字的特殊读法

中国語の「画蛇添足」は日本語で蛇足と言う。 (だそく)

境内での喫煙はご遠慮下さい。 (けいだい)

三、难读词表

以下提供难解词表,并附简单例句。

漢字	読み方	例文
愛嬌	あいきょう	誰にでも愛嬌を振りまく。
愛想	あいそ(う)	何の愛想もいたしませんでした。
暁	あかつき	暁を告げる鶏鳴が聞こえる。
商い	あきない	彼は商いが上手だ。
悪夢	あくむ	夕べ、悪夢をみた。
頭金	あたまきん	頭金5万円、後は月賦でけっこうです。
悪口	あっこう	悪口雑言を浴びせる。
呆気	あつけ	呆気にとられて、口も利けない。
油気	あぶらけ	油気のあるものがあるから火に注意しろ。
雨足	あまあし	夏の夕立は雨足が早い。
霰	あられ	霰が降っている。
安堵	あんど	安堵の胸をなでおろす。
家出	いえで	都会にあこがれて、家出をする。
経緯	いきさつ	事件の経緯を説明する。
意気地	いくじ	年をとると意気地がなくなる。
幾日	いくにち	幾日も天気が続いている。
居心地	いごち	田舎は居心地がいい。
痛手	いたで	不況で痛手を受ける。
無花果	いちじく	これはトルコ産干し無花果だ。
暇	いとま	考える暇がない。
稲作	いなさく	今年の稲作はよい。
息吹	いぶき	のどかな春の息吹を感じる。

海豚	いるか	<u>海豚</u> はかわいい動物だ。
雨後	うご	雨後の竹の子のように続出する。
内気	うちき	<u>内気</u> で人に何も言えない。
内訳	うちわけ	その数の <u>内訳</u> は示されていない。
上手	うわて	<u>上手</u> のほうへ登っていく。
会釈	えしゃく	軽く <u>会釈</u> する。
得体	えたい	魚だか何だか <u>得体</u> が知れない。
得手	えて	<u>得手</u> に帆を揚げる。
往生	おうじょう	たたみの上で <u>往生</u> する。
横領	おうりょう	公金を <u>横領</u> する。
大家	おおや	<u>大家</u> さんに家賃を納める。
掟	おきて	昔からの <u>掟</u> を破る。
臆面	おくめん	<u>臆面</u> もない弁解だ。
乙女	おとめ	<u>乙女</u> 時代は楽しかった。
御地	おんち	<u>御地</u> の様子はいかがですか。
音頭	おんど	<u>音頭</u> をとる。
仰向く	あおむく	<u>仰向</u> いて空を見る。
憧れる	あこがれる	舞台生活に <u>憧</u> れている。
嘲る	あざける	人を <u>嘲</u> る。
逃える	あつらえる	洋服を <u>逃</u> える。
暴れる	あばれる	酒に酔って <u>暴</u> れる。
操る	あやつる	英語を自由に <u>操</u> る。
粟立つ	あわだつ	寒さで全身が <u>粟</u> 立つ。
癒える	いえる	心の痛手が <u>癒</u> える。
憤る	いきどおる	テロの横行を <u>憤</u> る。

勇む	いさむ	勇んで出発する。
諫める	いさめる	酒を節するように父を <u>諫める</u> 。
弄る	いじる	カメラを <u>弄る</u> のが好きだ。
悼む	いたむ	友人の死を悼む。
偽る	いつわる	事実を <u>偽る</u> 。
挑む	いどむ	戦いを <u>挑む</u> 。
卑しめる	いやしめる	貧しい人を卑しめる。
癒す	いやす	渴きを癒す。
苛立つ	いらだつ	ぐずぐずして人を苛立たせる。
戒める	いましめる	子供のいたずらを戒める。
蠢かす	うごめかす	鼻を蠢かして得意がる。
蹲る	うずくまる	縁の下に犬が <u>蹲る</u> 。
渦巻く	うずまく	火炎が渦巻く。
討つ	うつ	かたきを討つ。
俯く	うつむく	恥ずかしくて <u>俯く</u> 。
項垂れる	うなだれる	元氣なく <u>項垂れる</u> 。
自惚れる	うぬぼれる	自分の才能に自惚れる。
呻く	うめく	苦痛に <u>呻く</u> 。
敬う	うやまう	先生を敬う。
裏付ける	うらづける	事実が彼の言葉を裏付ける。
占う	うらなう	身の上を占う。
羨む	うらやむ	人目も羨むような生活。
怠る	おこたる	仕事を怠る。
怖じける	おじける	大きな物音に怖じける。
煽てる	おだてる	あれは煽てると何でもする人だ。

脅かす	おどかす	人を脅かして金を取る。
躍らす	おどらす	胸を躍らす。
戦く	おののく	恐怖に戦く。
怯える	おびえる	戦争に怯える。
外気	がいき	外気に触れる。
快勝	かいしょう	10点の差で快勝した。
外套	がいとう	外套を着る。
該当	がいとう	それは第三条に該当する。
界限	かいわい	界限で評判になる。
欠片	かけら	ガラスの欠片に気をつけてください。
嵩	かさ	水の嵩が減る。
佳作	かさく	彼の小説としてはなかなかの佳作である。
貸間	かしま	貸間を探す。
仮借文字	かしやもじ	仮借文字はどういう文字ですか。
加勢	かせい	弱いほうに加勢する。
過疎	かそ	ここは過疎地帯である。
気質	かたぎ	学生気質がまだ脱けきらない。
喝采	かつさい	割れるような喝采が聞こえる。
恰幅	かつぷく	近頃彼は恰幅がよくなってきた。
合点	が(っ)てん	合点がいかない。
金具	かなぐ	戸に金具を取り付ける。
彼方	かなた	はるか彼方に見える山。
上座	かみざ	上座につく。
唐紙	からかみ	唐紙をあける。
狩人	かりゅうど	狩人が熊狩りをする。

元祖	がんそ	人間の <u>元祖</u> はサルである。
寒暖	かんだん	ここは <u>寒暖</u> の激しくない温和な気候だ。
勘弁	かんべん	ご <u>勘弁</u> と言った。
貫禄	かんろく	彼はまだ大臣としての <u>貫禄</u> がない。
気性	きしょう	彼女は <u>気性</u> の激しい女の子です。
吉報	きつぽう	試作成功の <u>吉報</u> を待っている。
踵	きびす	<u>踵</u> を返す。
気品	きひん	どことなく <u>気品</u> がある。
究極	きゅうきょく	この問題は <u>究極</u> 的には決まっていない。
急須	きゅうす	<u>急須</u> にお湯を注ぐ。
窮地	きゅうち	<u>窮地</u> に陥る。
仰天	ぎょうてん	びっくり <u>仰天</u> する。
近日	きんじつ	<u>近日</u> 、お伺いいたします。
銀杏	ぎんなん	イチョウの実を <u>銀査</u> と言う。
口数	くちかず	<u>口数</u> の多い人だ。
口車	くちぐるま	人の <u>口車</u> に乗る。
屈指	くっし	世界でも <u>屈指</u> の名ピアニストだ。
紅	くれない	夕焼けが西の空を <u>紅</u> に染める。
溪谷	けいこく	<u>溪谷</u> ぞいの道を歩く。
敬服	けいふく	見事な腕前にすっかり <u>敬服</u> する。
怪我人	けがにん	たくさんの <u>怪我人</u> が出た。
夏至	げし	六月二十二日ごろは <u>夏至</u> だ。
気色	けしき	驚いた <u>気色</u> がない。
欠陥	けっかん	彼は性格に <u>欠陥</u> がある。
解毒	げどく	<u>解毒剤</u> を飲ませる。

家来	けらい	大名の <u>家来</u> になる。
嫌悪	けんお	<u>嫌悪</u> の念を抱く。
興行	こうぎょう	この芝居は30日間 <u>興行</u> された。
交錯	こうさく	喜びと悲しみが <u>交錯</u> する。
強情	ごうじょう	<u>強情</u> を張る。
好物	こうぶつ	魚は私の <u>好物</u> だ。
小口	こぐち	問題発見の <u>小口</u> となった。
古今	ここん	<u>古今</u> 未曾有の大事件だ。
言伝	ことづて	王君から君に言伝を頼まれてきた。
金色	こんじき	<u>金色</u> の光を放つ。
困憊	こんぱい	疲労 <u>困憊</u> その極に達する。
顧みる	かえりみる	昔のことを <u>顧みる</u> 。
屈む	かがむ	腰が <u>屈んだ</u> 老人。
匿う	かくまう	犯人を <u>匿う</u> 。
嵩む	かさむ	生活費が <u>嵩む</u> 。
偏る	かたよる	考えが <u>偏</u> っている。
騙る	かたる	金を <u>騙る</u> 。
奏でる	かなでる	琴を <u>奏でる</u> 。
庇う	かばう	わが身を <u>庇う</u> 。
絡まる	からまる	ひもが足に <u>絡まる</u> 。
嗄れる	かれる	のどが <u>嗄れる</u> 。
鑑みる	かんがみる	人の失敗に <u>鑑みる</u> 。
気負う	きおう	優勝を目指して大いに <u>気負う</u> 。
着飾る	きかざる	美しい着物を <u>着飾る</u> 。
来す	きたす	破局を <u>来す</u> 。

窮まる	きわまる	窮まる <u>ところ</u> を知らない。
悔いる	くいる	今更 <u>悔</u> いても始まらない。
潜る	くぐる	長いトンネルを <u>潜</u> る。
挫く	くじく	腰を <u>挫</u> く。
口走る	くちばしる	聞き捨てならぬことを <u>口走</u> る。
覆す	くつがえす	大波が船を <u>覆</u> す。
寛ぐ	くつろぐ	さあ、ひとつ <u>寛</u> ぎましょう。
括れる	くびれる	首の <u>括</u> れた花瓶。
窪む	くぼむ	目の <u>窪</u> んだ人。
眩む	くらむ	目も <u>眩</u> むばかりの輝き。
衝える	くわえる	葉巻を <u>衝</u> える。
企てる	くわだてる	新しい事業を <u>企</u> てる。
貶す	けなす	人の作品を頭から <u>貶</u> す。
煙る	けむる	薪が湿っているので <u>煙</u> る。
蒙る	こうむる	莫大な被害を <u>蒙</u> る。
志す	こころざす	改革を <u>志</u> す。
試みる	こころみる	私が <u>試</u> みてみよう。
擦る	こする	手を <u>擦</u> って暖める。
拒む	こばむ	要求を <u>拒</u> む。
媚びる	こびる	<u>媚</u> びるような微笑。
毀れる	こぼれる	刃が <u>毀</u> れる。
凝らす	こらす	耳を <u>凝</u> らす。
強張る	こわばる	首が <u>強張</u> っている。
細心	さいしん	<u>細心</u> の注意を払う。
在中	ざいちゅう	お送りした荷物の中に請求書も <u>在</u> 中している。

詐欺	さぎ	詐欺にかかる。
挫折	させつ	一度挫折するとそれだけ見識が広がる。
早苗	さなえ	早苗を取る。
茶話会	さわかい	卒業式の後で、先生とお別れの茶話会がある。
懺悔	ざんげ	わが身の罪を神に懺悔する。
散在	さんざい	研究所は全国に散在している。
詩歌	しいか	詩歌の勉強を始める。
敷金	しききん	敷金として部屋代の三ヶ月分を払う。
仕草	しぐさ	猿が人間を真似て、おかしい仕草をする。
時雨	しぐれ	今日は時雨模様だ。
自業自得	じごうじとく	彼がこうなったのも自業自得だ。
持参	じさん	昼食は持参すること。
師事	しじ	田中先生に師事して日本語を学ぶ。
失格	しっかく	反則を3回すると失格になる。
失敬	しっけい	昨日はせっかく訪ねてくれたのに、留守して失敬した。
地肌	じはだ	雪解けで地肌が見えてきた。
飛沫	しぶき	飛沫が四方にはねる。
遮断	しゃだん	外部の音響を遮断する。
砂利	じゃり	道路には砂利が敷いてある。
縦横	じゅうおう	縦横に線を引く。
終日	しゅうじつ	終日、読書にふける。
執念	しゅうねん	彼はその計画の遂行に執念を燃やした。
宿願	しゅくがん	宿願を果たす。
熟達	じゅくたつ	工具の使用に熟達する。
順応	じゅんのう	環境に順応する。